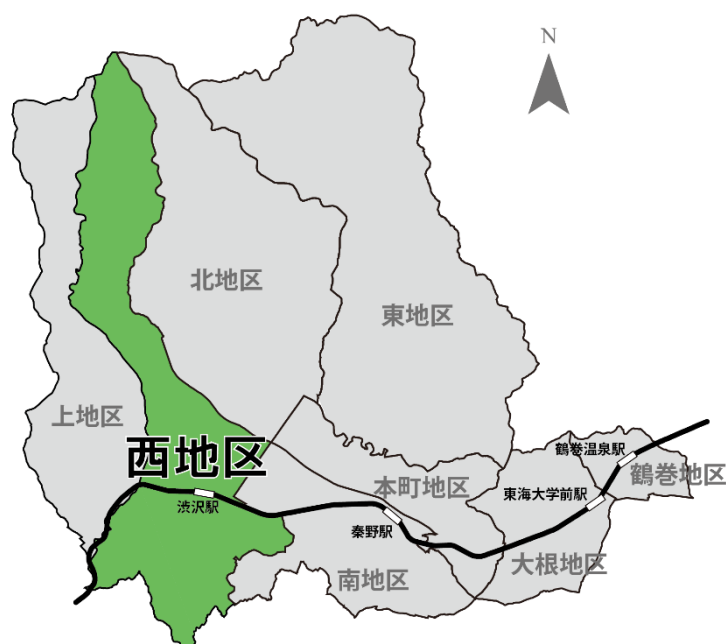


西地区

総合計画はだの2030プラン後期基本計画

地域が考えるまちづくり計画案



令和7年3月

西地区
地域まちづくり計画策定会議

1 現状と課題

(1) まちの魅力・にぎわい

西地区は、表丹沢と渋沢丘陵、水無川や四十八瀬川等の河川がある自然豊かな地域であり、古墳などの歴史的資源も多いことから、新東名高速道路の全線開通の機会を捉え、地区内の資源をPRするとともに、これを活用した地域活性化を進めることが求められています。

また、商業施設の老朽化や事業者の高齢化が進む中、渋沢駅周辺の商店街の活性化に向けた取り組みを行っていく必要があります。

<策定会議の意見より>

●地域資源のPRが重要

- ・ 新東名高速道路全線開通によるまちづくりについてPRが不足している。

●商業施設の老朽化や事業者の高齢化を踏まえた対策が必要

- ・ 渋沢駅周辺において、商業施設の老朽化や店主の高齢化による店舗の廃業が増加しており、商業活力や防犯機能の低下の懸念がある。交通手段に難のある高齢者が、まちなかで安全安心に暮らしていくために生活サービスの充実が求められる。

(2) 道路・交通

歩道のない道路が多く、高齢化が進む中、道路の安全対策や生活道路の整備が求められています。

<策定会議の意見より>

●高齢化に対応した安全対策や生活道路の整備が重要

- ・ 西地区では2023年の高齢化率が31.1%であり、車社会の中で歩道の充実、そして横断歩道の見直し、特に西中学校前の国道246号の交差点の改善をお願いします。陸橋になっていますが、階段を登れない人は渡れません。

(3) 防災・防犯

近年、異常気象により風水害の危険性が高まっていることから、震災時だけでなく、台風や大雨など、様々な災害時の避難が課題となっています。

また、渋沢丘陵周辺は急傾斜地となっており、土砂災害への対策が必要です。

さらに、近年は特殊詐欺や闇バイトによる強盗など、高齢世帯を狙った犯罪が増加しており、防犯カメラの設置等の推進が求められています。

<策定会議の意見より>

●多様な災害への備えが重要

- ・ 異常気象による風水害は他人ごとではなくなった。更なる綿密な避難計画等が必要。

●近時の犯罪傾向を踏まえた防犯対策が重要

- ・ 特殊詐欺や闇バイトの強盗団など、高齢世帯を狙った犯罪が横行し、安全・安心な暮らしが脅かされています。近所付き合いなど、地域コミュニティが希薄になっていることも一因かもしれません。住民が一丸となって地域を守る活動が必要となっていると思われます。

(4) 教育・文化・福祉・交流

コロナ禍を経て、自治会離れやイベントの取りやめなど、地域での交流の低下が課題となっています。また、様々な環境によるひきこもりや閉じこもりなど、子どもから高齢者までの幅広い世代に対し、きめ細かい支援が求められています。

また、西中学校体育館と西公民館の複合施設の活用やコミュニティ・スクールの取組みを更に充実し、広く発信することが求められています。

<策定会議の意見より>

●地域内での交流が重要

- ・ 自治会離れがコロナ禍で更に加速した感があります。それに加え、夏祭りなどのイベントを取りやめる自治会も増えており、自治会加入率が急激に低下しています。

●西中学校・西公民館の複合施設の活用やコミュニティ・スクールの取組みの周知が重要

- ・ コミュニティ・スクールの取組みが見えない。

(5) 農林業

鳥獣による農作物被害への対応、里地里山の保全・再生、遊休農地等の活用、今後も引き続き、取り組む必要があります。

<策定会議の意見より>

●現行の計画内容を継続

- ・ 秦野の文化や都市近郊農業など、秦野らしさを活かした取組みが必要。

2 目指す地域（まち）の姿

(1) 目指すまちの姿(将来像)

- ア 豊かな自然環境を維持・活用し、四季を感じることができる美しい町並みと機能性のあるまち
- イ ふれあいのある、安全・安心で元気とにぎわいのあるまち

(2) 基本理念

- ア 誰もが安心して暮らせるよう、互いに協力します
- イ 住民同士のふれあいを通じて地域の活性化を進めます

(3) 地域づくりの基本目標

- ① まちの魅力、にぎわいの創出
- ② 道路・交通環境の整備
- ③ 防災・防犯・安全の強化
- ④ 教育・文化・福祉の拡充、多世代交流の促進
- ⑤ 農林業の振興

<策定会議の意見より>

●将来像と基本目標の関係性を明確にすることが重要

- ・ 基本目標の項目ごとにもう少し具体的な将来像があると良い。
- ・ 住民同士のふれあいの場を増やし、支えあい、助けあいが自然にできるようにする。

●多様な世代の交流を促すことが重要

- ・ 地域の交流を大切にしたい。コロナ前は活発に高齢者を囲んでサロンを行いました。ここ5～6年はコロナの影響でなくなりましたが、市内には約60のサロン活動があるので、他地域の活動も参考にして活発にしたいと思います。

3 地域版リーディングプロジェクト

【プロジェクト名】

にぎわいと豊かな自然を結ぶ骨格の形成

【プロジェクトの内容】

- 1 渋沢駅周辺の活性化
 - ・観光資源へのサイン表示（頭高山や四十八瀬川への案内看板など）
 - ・駅連絡所の効果的な活用
 - ・ZARDの駅メロディや楽曲の更なる活用
 - ・来訪者の受け皿づくり（商店会のイベントの開催、お店の魅力アップ、駅前駐車スペースの増設）
 - ・西地区PRパンフレット等の作成の検討
- 2 西中学校体育館と西公民館の複合施設の活用
 - ・地域交流の拠点としての取組み
- 3 道路・交通環境の整備
 - ・歩道の整備、ガードレールや歩道橋の補修

【プロジェクトの背景・目的】

西地区のにぎわい拠点となる渋沢駅周辺と、表丹沢や秦野戸川公園のほか、新東名高速道路秦野丹沢スマートIC設置に伴う新たな産業拠点を結ぶ主要道路を西地区の骨格と位置付け、ソフト面・ハード面から、にぎわいの創出と交流の促進を図り、元気でにぎわいのあるまちを目指します。

【推進体制】

西地区住みよい町づくり運動推進委員会、自治会、学校、民生委員児童委員、行政、小田急電鉄等、NPO等

<策定会議の意見より>

●駅連絡所の充実が必要

- ・「駅連絡所に観光案内を整備」について、連絡所の活用を充実させてはどうか。

●駅前の駐車スペース確保が必要

- ・「来訪者の受け皿づくり」に「駐車スペースの増設」を加えてはどうか。

4 主な取組み・すすめる活動（地域主体の取組み・地域と行政との協働の取組み）

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
① まちの魅力・ にぎわいの創 出	●河川の自然環境を活かした取組みの促進、持続可能な体制づくり ・水無川（水無瀬橋～平和橋）の草刈りによる景観まちづくりの推進 ・水無川右岸にある遊歩道を生かした観光スポットとしての整備 ・四十八瀬川の清流、室川のホタルが棲める環境整備 ・自然環境ウォーク（水無川、四十八瀬川）の充実 ・丹沢まつりにおいて地域を知ってもらう取組み（地域の魅力を知ってもらうハイキング）	自治会 行政 地域全体・行政 自治会 自治会・行政
	●渋沢丘陵から震生湖までのハイキングコースや頭高山周辺の整備、矢倉沢往還道の再生 ・頭高山周辺の桜等の植樹と管理体制づくり ・魅力ある商業振興の促進、商店街のにぎわいの再生	地域全体・行政 地域全体・商店会・行政
	●新東名高速道路の開通(スマートインターチェンジ)を生かした地域活性化 ・観光農業の推進、目玉商品の開発 ・遊休農地などを活用した花植え ・空家を活用した魅力スポットづくり ・行政と地域が情報共有し、発信できる取組み	行政・自治会・商業者等 行政・地域全体 行政・地域全体 行政・地域全体
	●渋沢駅周辺のまちおこし、まちの魅力を発信 ・来訪者の受け皿づくり（商店会のイベントの開催、お店の魅力アップ、駅前駐車スペースの増設） ・ZARD（※）の駅メロディや楽曲の更なる活用 ・観光資源へのサイン表示（頭高山や四十八瀬川への案内看板など） ・駅連絡所の効果的な活用 ・西地区PRパンフレット等の作成の検討	商店会・行政 商店会・行政 行政 行政・自治会 商店会・行政

※ ZARD（ザード。本名、坂井泉水（さかい いずみ）。1967-2007）

西地区出身の女性ミュージシャンです。

秦野市制施行60周年記念事業の一つとして、坂井さんが通学等で使用していた渋沢駅において、代表曲である「負けないで」（上り線ホーム）、「揺れる想い」（下り線ホーム）が駅メロディに採用されています。（2014年12月23日～）

＜策定会議の意見より＞

●水無川の景観促進が重要

- ・「水無川の土手の草刈り」を「水無川の草刈りによる景観の促進」としてはどうか。

●自然環境ウォークの充実が重要

- ・「自然環境ウォークの開催」を「自然環境ウォークの充実」としてはどうか。

●桜を含めた植樹の推進が重要

- ・「頭高山周辺の桜の管理体制づくり」を「頭高山周辺の桜の植樹」としてはどうか。

●駅連絡所の充実が必要

- ・「駅連絡所に観光案内を整備」について、連絡所の中身を充実させてはどうか。

●駅前の駐車スペース確保が必要

- ・「来訪者の受け皿づくり」に「駐車スペースの増設」を加えてはどうか。

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
② 道路・交通環境の整備	●道路・交通環境の整備 - 歩道の整備、ガードレールや歩道橋の補修 - カーブミラーの整備 - 国道246号の交差点の安全等の推進 - 歩行者や車イス使用者等の交通弱者への支援 - 登下校時の見守りと危険個所の点検	行政 行政 行政・地域全体 行政・交通事業者等・地域全体 地域全体
③ 防災・防犯・安全の強化	●災害への備え - 自治会、自主防災会で地域を見回り、敷地内の危険物の撤去についての声掛け・手伝い - 避難行動要支援者名簿の共有・更新 - 避難所機能の充実	自治会・自主防災会 自治会長・民生委員 地域全体・行政
	●各種イベントなどへの参加促進による地域の結束力の強化 防災訓練や福祉ふれあいまつり、市民体育祭、一斉美化清掃などの参加を通じた絆づくり	地域全体
	●あいさつ、声かけで地域の絆を深め、一層の防犯対策を強化 防犯ベストを着用した声掛け、あいさつ活動（名前は知らなくても一目で認識可能）	地域全体

<策定会議の意見より>

●交通環境を整備することが重要

- 「道路整備」は、道路だけではなく「交通環境整備」としてはどうか。
- 「右折ラインの整備」は「右折ラインやカーブミラーの整備」に変更してはどうか。
- 「右折ラインの整備」はできる所はやっているので削除してはどうか。
- 「国道246号の交差点改良の推進」を追加してはどうか。
- 「交通弱者支援」を追加してはどうか。
- 「行き止まり路」は解消しなくても良い場合もあるので削除してはどうか。

●地域一体となった防犯活動は引き続き重要

- 「防犯ネームプレートを活用した声掛け、あいさつ活動」は「防犯ベストを着用した声掛け」に変更してはどうか。
- 継続で良いが、自治会だけでなく、他の団体と連携をとり、地域全体で防犯対策に取り組んでいくべき。

●様々な災害を見据えた防災対策は引き続き重要

- 「風水害時の事前準備」は風水害だけではないので、「災害時の事前準備」に変えてはどうか。
- 「災害時の事前準備」は「災害への備え」としてはどうか。
- 「避難行動要支援者名簿の共有」について、自治会が把握しているだけのものであり、全体的な把握ができていないと思われるため、更新・再作成が必要ではないか。

4 主な取組み・すすめる活動（地域主体の取組み・地域と行政との協働の取組み）（続き）

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
③ 防災・防犯・安全の強化	●防犯カメラや防犯灯等の充実 ・犯罪防止のための防犯カメラや防犯灯の充実及び情報共有 ・商店街の街路灯の維持	行政 商店会・行政
	●自治会加入率の向上 ・自治会のPR、魅力の発信 ・定年後に地域に戻ってもらう機運の醸成	自治会・行政 自治会・行政
④ 教育・文化・福祉の拡充、交流の促進	●学校と地域における取組みの推進 ・コミュニティ・スクールを中心とした若者と地域コミュニティのコラボレーションの推進	学校・地域全体
	●各施設の活動環境整備の検討 ・高齢者等がふれあい、交流する環境の推進、自治会館、老人いこいの家、空き店舗などを利活用したコミュニティの場の拡充 ・地域福祉員と地域の連携 ・西中学校と西公民館の複合施設を活用した地域の絆づくり	地域全体・行政 地域全体 地域全体

＜策定会議の意見より＞

●近時の犯罪傾向を踏まえた防犯カメラ等の充実が重要

- ・「通学路の防犯カメラや防犯灯の充実」を「犯罪防止のための防犯カメラや防犯灯の充実」に変えてはどうか。
- ・防犯カメラや防犯灯の設置箇所や数をほとんどの人が知らないので、情報提供が必要ではないか。

●西中学校体育館と西公民館の複合施設の活用に係る記載の見直しが必要

- ・「現在のふれあい館の役割を持たすことを検討」は、複合施設が既に地域の拠点としての役割を満たしているので、削除して良いのではないか。
- ・「体育館における避難所機能等の充実」は、この基本目標ではなく、基本目標③「防災・防犯・安全の強化」に入れるべきではないか。
- ・複合施設が整備されて4年以上が経過し活用されているので、項目を削除してはどうか。

●コミュニティ・スクールの取組みの推進は引き続き必要

- ・「コミュニティ・スクールの取組みの推進」を「若者と地域コミュニティのコラボレーション」に変えてはどうか。

●コミュニティの場の充実が必要

- ・「各施設の活動環境整備」を追加してほしい。

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
④ 教育・文化・福祉の拡充、交流の促進	●地域高齢者支援センターとの連携 ・地域と高齢者支援センター事業の周知と活用 ・高齢者見守りキーホルダーの登録者増加に向けた取組みの推進	自治会・地域高齢者支援センター
	●地域サロン活動の充実と拡充 ・サロン活動の充実と拡充 ・公共交通手段のない地域に対する買い物支援の推進、交流拠点の整備（地元事業者による弁当の販売等）	行政・自治会・地区社会福祉協議会・事業者等
	●地域間交流の推進 ・祭り等イベントの相互協力	地域全体
	●上地区自治会との連携 ・イベントの相互協力等	両地区自治会
⑤ 農林業の振興	●地元との連携による農作物の鳥獣被害の防除に関する取組みの推進	農家・地域全体
	●地域住民やボランティア団体と連携した、里地里山の保全・再生に関する取組みの推進 ・ヤマビル対策の強化	ボランティア団体・地域住民・行政
	●遊休農地等における体験観光（落花生やさつまいも堀りなど）や花畑づくりの推進 ・家庭菜園残さの肥料としての活用 ・遊休農地の効果的なPR	農家・地域全体
	●自治会と農協西支所との連携 ・イベントへの相互協力等	自治会・農協西支所

<策定会議の意見より>

●高齢者見守りキーホルダーの周知が重要

- ・「高齢者見守りキーホルダーの紹介」を追加してはどうか。

●地域間の交流・連携が必要

- ・大項目に「地域間交流の推進」を追加し、小項目として「祭りの相互協力」を入れてはどうか。

●ヤマビル対策に取り組むことが重要

- ・「ヤマビルの対策の強化」を入れてはどうか。

●農地の多様な活用が重要

- ・「家庭菜園の残さを再生肥料等に活かす」ことを追加してはどうか。
- ・「遊休農地のPRの工夫」を追加してはどうか。

5 西地区地域まちづくり計画策定会議のあらまし

(1) 地域まちづくり計画策定会議委員（選出分野）

西地区自治会連合会	秦野市身障者福祉協会西支部
秦野市西商店会連合会	西地区保護司会
秦野市農業協同組合西支所	前西地区住みよいまちづくり運動推進委員会
西地区民生委員児童委員協議会	元市消防職員
西地区長寿会連合会	大学生（学生団体E4青年部）
秦野市西上地区体育協会	

委員数24名

(2) 主な検討経過

回数	日程・会場	内容
第1回	令和6年10月22日（火） 18：00～ 西公民館 多目的ホール	・総合計画及び地域まちづくり計画の目的や、後期基本計画策定の進め方等の確認 ・策定に当たっての基本情報の共有 ・前期地域まちづくり計画に対する意見（課題カードの作成）
第2回	令和6年11月26日（火） 18：00～ 西公民館 多目的ホール	・課題カードのとりまとめ結果を踏まえた意見交換 ・地域として実施していく「主な取組み・すすめる活動」の検討
第3回	令和7年1月28日（火） 18：00～ 西公民館 多目的ホール	・「主な取組み・すすめる活動」の検討結果の反映内容確認、意見交換 ・「現状と課題」、「目指すまちの姿」、「基本目標」、「地域版リーディングプロジェクト」の検討
第4回	令和7年2月25日（火） 18：00～ 西公民館 多目的ホール	・地域が考えるまちづくり計画案（原案）の確認、意見交換

